

平成29年度(2017年度)

管理事業名	スポーツグラウンド事業				総合計画の体系	第4章 第3節	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり スポーツに親しめるまちづくり			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 34	体育施設管理費			
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室							
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名									
<p>スポーツグラウンド管理事業 運動広場等管理事業</p>										
<p><b>事業の目的と概要</b>          指定管理者制度において、5か所(中の島、桃山台、山田、南正雀、高野台)のスポーツグラウンドの管理・運営を行うとともに、安全な施設の整備に努め、健全なスポーツ活動の場を提供します。          また、市の遊休地(青山台、藤白台)2か所と府からの借用の(新御堂、春日)2か所は、土地の用途が決定され返還するまでの間、暫定的に地域の住民にスポーツ・レクリエーションの場として提供します。</p>										

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
施設利用者数、目標利用者数 264,760人	人	248,744	234,536	238,794	中の島、桃山台、山田、南正雀、高野台グラウンドの利用者数
スポーツグラウンド使用料収入額	千円	28,335	24,828	26,767	中の島、桃山台、山田、南正雀グラウンドの使用料収入決算額(過年度使用料徴収分含む。)
成果の説明	<p>平成29年度(2017年度)は中の島グラウンドの多目的グラウンド整備工事を行いました。          平成29年度(2017年度)の利用者数は、平成28年度(2016年度)比4,258人(1.8%)増加、平成27年度(2015年度)比9,950人(4%)減少しました。          また使用料収入は、平成28年度比1,939千円(7.8%)増加、平成27年度比1,568千円(5.5%)減少しました。</p>				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	28,329	24,828	26,765	1,939
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	2,054	1,649	1,343	△306
経常収入 小計(a)	30,383	26,475	28,108	1,633
給与関係費	3,062	4,993	4,550	△443
物件費	93,888	92,796	90,889	△1,907
維持補修費	5,301	6,839	64,193	57,354
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	11	-	24	24
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	8,335	8,335	10,368	2,034
徴収不能引当金繰入額	1	△1	-	1
賞与引当金繰入額	213	649	313	△336
退職手当引当金繰入額	92	2,714	△656	△3,370
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	110,902	116,325	169,682	53,356
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△80,519	△89,850	△141,573	△51,723
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△80,519	△89,850	△141,573	△51,723
一般財源充当額	72,434	99,905	132,594	32,689
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△8,085	10,055	△8,979	△19,034

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	指定管理委託料 89,047千円 備品購入費 680千円
維持補修費	中の島スポーツグラウンド多目的グラウンド整備工事 40,848千円 山田スポーツグラウンド管理棟改修工事 20,293千円
減価償却費	桃山台・山田・南正雀スポーツグラウンド 建物 南正雀スポーツグラウンド 工作物

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	30,390	26,477	28,109	1,631
行政サービス活動支出	102,824	105,317	160,703	55,386
行政サービス活動収支差額	△72,434	△78,840	△132,594	△53,755
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	21,066	-	△21,066
投資活動収支差額	-	△21,066	-	21,066
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△72,434	△99,905	△132,594	△32,689
一般財源充当額	72,434	99,905	132,594	32,689
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人あたりのコスト	平成27年度	248,744人	446円	スポーツグラウンド5か所の利用者1人あたり 711円のコストがかかっています。 維持補修費増加により1人あたりのコストが増加しました。
	平成28年度	234,536人	496円	
	平成29年度	238,794人	711円	
開場1日当たりのコスト	平成27年度	延べ1,795日	61,784円	スポーツグラウンド1か所1日あたり 94,530円のコストがかかっています。 維持補修費増加により1日あたりのコストが増加しました。
	平成28年度	延べ1,795日	64,805円	
	平成29年度	延べ1,795日	94,530円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	649	313	△336
未収金	5	-	△5	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	649	313	△336
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	△4	-	4	リース債務	-	-	-
流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	2,141,416	2,131,048	△10,368	固定負債	5,067	4,013	△1,054
土地	1,941,464	1,941,464	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	199,952	189,584	△10,368	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	5,067	4,013	△1,054
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
固定資産	-	-	-	負債の部合計	5,716	4,326	△1,390
有形固定資産	-	-	-	純資産	2,135,701	2,126,722	△8,979
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	0	0	-	純資産の部合計	2,135,701	2,126,722	△8,979
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	2,141,417	2,131,048	△10,369
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	2,141,417	2,131,048	△10,369				

Ⅲ 財務構造分析

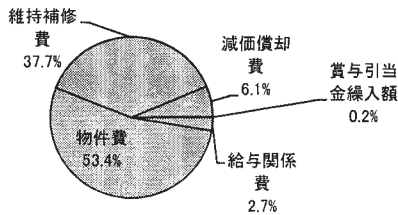
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
	月平均	人				
事業従事人数	0.59	人			4	4,207
給与関係費等	4,149	千円			59	千円
内、時間外勤務手当	227	千円				

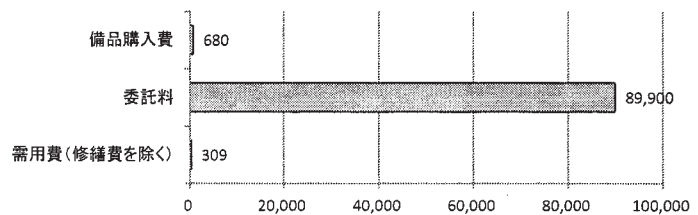
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
土地	山田・南正雀スポーツグラウンド
建物・工作物	桃山台・山田・南正雀スポーツグラウンド 建物 南正雀スポーツグラウンド 工作物 の減価償却による減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立中の島スポーツグラウンドほか
取得年月日	昭和39年(1964年)4月1日(共用開始)ほか
建物・工作物の取得価額	499,218 千円
建物・工作物の減価償却累計額	309,635 千円
利用料金収入	26,765 千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率		1.1	1.4	12.9	11.5
施設老朽化比率		60.8	59.9	62.0	2.1
受益者負担比率		25.5	21.3	15.8	△ 5.5
徴収不能引当率		68.3	88.0	-	△ 88.0
一般財源充当比率		70.4	79.0	82.5	3.5
経常費用対公共資産比率		23.2	23.3	34.0	10.7

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

既存施設の老朽化が62.0%と2.1ポイント進行しました。  
コスト全体の53.4%を物件費が占めていますが、そのうちの98.0%が指定管理料等委託料がとなっています。また、中の島スポーツグラウンド多目的広場整備工事等により、例年より維持補修費の割合が増加しました。減価償却費はコスト全体の6.1%を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

中の島スポーツグラウンドほか4か所のスポーツグラウンドは平成20年度から指定管理者制度を導入しています。  
平成29年度(2017年度)は公共施設最適化計画による中の島スポーツグラウンド多目的広場整備工事等(40,848千円)と山田スポーツグラウンド管理棟屋根及び外壁改修工事(20,293千円)を実施し、安心、安全な施設整備を行いました。今後も、維持補修の財源確保も含め、計画的に施設の整備を実施し、施設の長寿命化を図ることが必要です。